



小金井 2013.10/1 No.426 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

NPO法人市民の図書館・公民館こがねい 設立総会開催

平成26年4月の新図書館、公民館の開館に向けて、建設が進む(仮称)貫井北町地域センター。

去る8月10日、「NPO法人を立ち上げて、事業運営を」という市の提案を受けて、多くの市民、市民団体が設立総会にお集まりいただきました。

総会において、役員に推薦されました、昼間守仁理事長にお聞きしました。

編集委員：「昼間さんのような図書館をはじめ行政経験抜群の小金井市民が理事長になられたことで安心されている方も多いと思います。

NPO設立総会はいかがでしたか？」

昼間守仁理事長：「当日は、正会員が55人（団体会員含む）という多数の方が届を出されました。

新しく開館する図書館、公民館に対する市民の熱い思いの現れではないでしょうか。

その中から、24名の理事と2名の監事を選出しました。理事長という大役を仰せつかりましたが、何分初めての試みです。皆様のご協力をいただき、円滑に運営を進めていければと考えております。」



副理事長に選出されました藤森勝年さんと倉橋良子さんに抱負をお聞きしました。

倉橋良子さん

従来の公民館は、職員(行政)・市民・参加者で創ってきた伝統ある学習の場で、生活の支えになった「私の大学」でした。この度の貫井北町センター図書館、公民館事業運営のNPO法人化は、この1カ月余りの出来事、と云ってもよい変化で、ただ驚きでした。

しかし、NPO設立総会で、多数の正会員、理事希望者の参加があつて、関心の深さを示したことは、実験的と思える形態を受け入れる市民の力なのだ、と心強く思いました。志ある多くの人達と出会った喜びは、共に我が街に根差した学習の場をつくり、若者達には、心のふる里と思える場をつくる。その一端を担えるか、共に担うのだ。と、今感慨深い想いの中にいます。



編集委員：「4月の開館に向けて準備も大変ですね。」

昼間守仁理事長：「12月初旬までに法人登記を済ませて、開館準備に時間をあてられればと考えております。

これから、設立趣旨の実現に向けてみなさまと一緒に頑張っていきたいと考えております。」



藤森勝年さん

ご推薦により副理事長に選任されて大変光栄に思っております。貫井北町1丁目在住、弁護士、ピン・シャン・コロリ研究会というNPO法人(会長 廣野恵三医師)の事務局長をしております。

小金井市では初代福祉オンブズマンを11年間、福祉法律相談員を13年間務めさせていただきました。その間、いろいろな方のお話を伺ってきましたので、その経験をもとに、市民の方のご意見を拝聴しつつ頑張りたいと思います。

図書館・公民館は社会教育法に基づいて、市区町村が市民のために提供する教育の場ですが、その精神に則り、設立趣旨書の考えに沿って参加できればと思います。

募集**子ども体験講座
「落ち葉の美術館」**

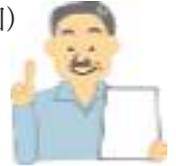
本館

- 落ち葉を使って作品を創ります。
ご家族・お友達と一緒に作ってみませんか？
- と き 11月2日(土) 午前9時30分
ところ 都立小金井公園内サービスセンター前集合
(雨天決行)
- 対 象 市内在住の小学生と保護者(小学校3年生以上
は子どものみの参加も可)
- 講 師 大石征夫さん、鎗野登美子さん
(いずれも森林インストラクター)
- 定 員 30人(申込順)
- 材料費 300円
- 申 込 10月2日から直接、または電話またはFAXで
住所・氏名・電話番号・学校名・学年を明記し、
公民館本館へ。

**募集****市民講座
「まちづくり講座」**

本館

- 今回は「住みたいまち No.1を目指したまちづくり」を
テーマに、まちづくりについて考えます。
- と き 11月6日～11月20日の毎週水曜日
午後1時30分～3時30分(全3回)
- ところ 公民館本館学習室
- 内 容 下表のとおり
- 対 象 市内在住・在勤・在学の方
- 定 員 60人(申込順)
- 申 込 10月2日から電話、FAX、または直接、
住所・氏名・年齢・電話番号を公民館本館
(☎042-383-1184/FAX042-387-1226)へ。



日 程	テ ー マ	講 師
11/6 (水)	地域の防災と 安心をつなぐまちづくり	寺内 義典さん (国土館大学准教授)
11/13 (水)	人口と産業の縮小する 多摩の未来を考える	東 康七さん (商業コンサルタント)
11/20 (水)	人がつどう元気なまち ～心のバリアフリー～	林屋 雅江さん (建築家)

募集**市民講座
「最近テレビがおかしい!？」
～メディアの見方・付き合い方～**

本町分館

- 視聴率至上主義の今日、ただ数字を安易に取れる似た
ような番組が並び、ジャンルも偏り、テレビを見ない人
が増加し、その競争が激化している中でメディアを見抜
く力を学習してみませんか。
- と き 10月17日(木) 午前10時～正午
- ところ 公民館本町分館
- 講 師 伊東良平さん(元テレビ神奈川制作部
プロデューサー)
- 対 象 市内在住・在勤・在学の方
- 定 員 30人(申込順)
- 参加費 無料
- 申 込 10月2日から電話、または直接公民館本町分館
(☎042-383-1170)へ。

募集**市民講座
「多摩地域の戦争遺跡を訪ねて」**

東分館

- 戦時中、この地域は一大工業地域であり空襲のために
大きな被害を受けました。多摩地域が戦争とどう関わっ
てきたのかを、講義と遺跡見学で学びます。
- と き 11月3日(日)、※9日(土)、16日(土)
※24日(日)、12月1日(日) 午前10時～正午
※遺跡見学日(登戸研究所資料館・浅川地下壕)
は、時間変更あり
- ところ 公民館東分館、他
- 講 師 中田 均さん(都立小川高等学校教諭)
- 対 象 市内在住・在勤・在学で2時間程度歩ける方
- 定 員 20人(申込順) 参加費 無料
- 申 込 10月2日から電話または直接、公民館東分館
(☎042-384-4422)へ。

募集**成人学校
「イクメンパパのための
親子クリスマスキャンドル作り」**

緑分館

- クリスマスキャンドル作りを通してお子さんと一緒に
クリスマスを楽しみ、今後の育児参加のきっかけにしま
せんか。
- と き 12月7日(土) 14時～16時
- ところ 公民館緑分館
- 講 師 奥村千鶴子さん(ワックスアーティスト)
- 対 象 原則お父さんと5歳～12歳までのお子さん
(市内在住・在勤・在学)
- 定 員 10組(申込順)
※お父さん一人につき
お子さん二人まで可能
- 参加費 1,000円(材料費)
- 申 込 10月16日(水)から11月15日(金)まで電話または
直接公民館緑分館(☎042-387-7301)へ。

**募集****成人学校
「滝めぐり」**

貫井南分館

- 山梨県鯉沢村大柳川溪谷を見学します。
- と き 10月25日(金)
午前8時公民館貫井南分館出発
午後5時頃同場所解散(予定)
- 講 師 井上 博さん(森林研究家)
- 対 象 市内在住・在勤・在学で山道を2時間ほど歩け
る方・吊り橋を渡ることができる方
- 定 員 20人(多数抽選)
- 申 込 10月10日(必着)までに往復はがきに住所・氏名
(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、公民館
貫井南分館へ「滝めぐり係」(〒184-0014 貫井
南町4-3-23 ☎042-383-1168)へ。



おいでよ、もっと！公民館 企画実行委員ってなあに？ 其の一

公民館の学習は、生活に役立つ、あるいは生活の中から出てきた課題に応えるような企画がまず求められています。その一方では、個人をとりまく地域や国、世界レベルの課題も考えていく必要もあります。

また、学習するだけではなく、交流をとおしての仲間づくりも公民館が演出してく機能も兼ね備えています。

小金井市では昭和28年に公民館が開館したと同時に、「企画実行委員制度」が誕生しました。

そんな小金井市の公民館で、今、企画実行委員経験が1年を迎えた方に感想を伺いました。

貫井南分館企画実行委員 大嶋郁子

2013年、3月のスプリングコンサートは聴衆、出演者共々喜び合った。5月には沢山のプログラムの南分館まつりに続き、けやき学級を開催、新メンバーと共に出発、前半を好評裡に終了。

成人学校「フォークサウンド弾き語り入門講座」も盛況の内に終了。次回も募集予定。7月は「植物観察・富士山5合目」を実施。応募者多数の中、無事終了。

一方、毎週月曜日の「江戸東京野菜」学級は、毎週の収穫の喜びと共に暑さにめげず、メンバー達は奮闘。各講座出席者は、多彩なプログラムを友と共に有意義に過ごしている。

東分館企画実行委員 石原節子

企画・実施と、まわりの方達からいろいろ教えられ、ひとつの行事をやり遂げるすばらしさ！

参加された方達が満足気に帰ってくださるうれしさ！

私自身狭い世界から他分野の広い世界を知り、それを基に深掘りしていく楽しさ！

人生の終盤にたくさんの刺激を受け、素敵な出会いと共に仲間ができると思いませんでした。

更に活動を通して、自分の頭が活性化し、元気をもらい体力もつきました。

これは一年を経ての大発見でした。

公民館は気楽に足を運んでくださるのを待っています!!

本館企画実行委員 花淵健一

初めは、公民館活動が自分の考えていたことと実際にやってこられたものに齟齬がありましたが、いろいろな企画の中に自分の意見を組み込んでより良いものを目指してきました。

今の公民館は若者や子育て世代の参加が非常に少なく、今後の公民館活動について大いに懸念されますので、若者や子育て世代に向けた企画の充実を図らなければならないと思います。

過去からの流れに捉われず、小金井市民の皆さんが喜んで参加できるような企画を立案していきたいと思しますので、宜しくお願いします。

次回は、おいでよ！ もっと公民館
企画実行委員ってなあに？ 其の二をお届けします

サークル紹介 絵画サークル「まりも会」 本町分館

当会は創立25年余りの伝統ある絵画サークルです。

油絵を中心に水彩画、パステル、アクリルなど自分に好みの画材を使って絵の制作と勉強を楽しんでいます。

モチーフも自由で風景や花、置物などの静物、またモデルを使っての人物画など多彩です。季節の良いときには野外にスケッチに出かけます。

講師の先生は4代目で、現在は武蔵野美大出身の熟練の先生で分かりやすく懇切丁寧に指導して頂いております。

月1回は制作した絵を持ち寄って先生の講評と合評会を行っています。会のモットーは絵に親しみ楽しく描くことです。

そしてお互いに切磋琢磨し、それにより上達すればなお結構なことだと考えています。

会員数は今は9人と少なくなり少々淋しい状態です。無心に絵を描くことはストレス解消にもなり、脳の活性化に大変効果があると言われて

います。初心者の方も大歓迎です。一緒に描きながらひと時を遊びませんか、お待ちしております。

- 活動日時：月4回木曜日
午後1時～5時
途中出入りは自由

- 場 所：公民館本町分館
- 会 費：入会金なし/月謝3,000円
- 連絡先：金井秀樹 (☎：090-6304-8301)



「防災について」 本町2丁目町会 防災会

平成25年7月9日立川防災館の見学を実施した。

参加者は10名。

最初に地震の映像を見て改めて地震の恐ろしさを痛感する。次に地震体験室で本物と同じ震度7の揺れを体験した。

大事なことは

- ① 机などの下に移動し身の安全をはかる。
- ② 火の元の確認。
- ③ 窓や戸を開け出口を確保することである。

次に煙体験室に入った。

安全に避難するためには、低い姿勢で口をふさぎ煙を吸わないことが大切と教わる。

最後に実際に消火器を使ってスクリーンの火を消す体験をした。

実際に地震や火災の時にどう行動するべきか考える良い機会になったと思う。

この体験を生かし今後の防災活動に役立てていきたい。



◆ 10月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp
ITサポートは、(20日は全館お休み)各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
☆子ども体験講座 「落ち葉の美術館」 ☆市民講座 「まちづくり講座」 市報10月1日号に詳細	☆市民講座 「最近テレビがおかしい!?!」 市報10月1日号に詳細 ☆成人学校 「自分らしいエンディングを迎えるために」 市報10月15日号に詳細	☆成人学校 「滝めぐり」 市報10月1日号に詳細 ☆成人学校 「そば打ち体験」 市報10月15日号に詳細	☆市民講座 「武蔵野地域の戦争遺跡を訪ねる」 ☆成人学校 「わたしをリフレッシュ」 市報10月1日号に詳細	☆成人学校 「イクメンパパのための親子クリスマスキャンデル作り」 市報10月15日号に詳細

地域を歩く



「はじめてのしごと体験」

小金井市商業復興会が主催する第3回「北口こども商店」が8月19日に行われました。

「地域の安心と安全」を守るネットワークの一つとなることを目的に、小学三年生から六年生の子どもたちがお店のお手伝いをして顔の見える人間関係をつくってゆくイベントです。

回を重ねるごとに参加者と参加店舗の数も増えて、今後さらなる活気をみせています。

こども店員さんはおそろいの若草色のTシャツを着て、一生懸命の対応でした。

そのひたむきさと愛くるしさが加わって、どこの店内も和やかな雰囲気には溢れていました。

仕事を終えた子どもたちは口をそろえて「とっても楽しかった!」と感想を述べていましたが、三年生の男子からは「大きな声で(いらっしゃいませ)が言えなかった」と反省の弁も聞かれました。

午後1時から4時まで「はじめてのしごと体験」を終えて、子どもたちはお給料のかわりにお菓子の袋詰めを貰ってお迎えのお母さんたちと一緒に元気に帰宅しました。



編集後記

今年は東京で国体が行われています。
小金井市では、バスケットボールと弓道が開催されます。
どちらもなかなか観に行く機会の少ない競技かもしれません。
なかなかないこの機会に、みなさん是非観戦してみたいはかがでしょうか?
また、そろそろ動きやすい季節になってきたので国体で気になる競技を観戦して、実際にはじめてみるのもいいかもしれませんね。(F)

平成25年地域防災学習交流会 開催

前原4丁目町会自主防災会

地域防災力の向上を目指して、都が今年度から新しく企画した地域防災学習交流会の案内を受け、当自主防災会では昨年「災害時行動マニュアル」を作成し、部長・班長を対象に内容の理解活動を行ってきた事を踏まえ、対策に苦慮している火災についての学習交流会を今年度の防災訓練として部長・班長を対象に開催致しました。

学習会は「地震火災への対応と初期消火」で多岐にわたる内容でした。

その中で参考にしたいと思う事は、

【出火原因】

- ① 電気関係
 - ② ガスと電気の相乗効果
 - ③ 偶然的出火
- に分けられる。

しかし、阪神大震災時の火災発生件数の約半数は原因不明であるそうです。



【火災の脅威】

- ① 消防能力を上回る出火件数
- ② 災害時の気象条件で大きく変わる大規模火災化
- ③ 火の回りが速い

【不在者宅からの出火】の三点でした。

火災対策は各現場ごとに状況が異なり、対応が難しいが共通点はただ一つ、火が小さい時に消火する。(初期消火)

また消火活動で初期消火を行うも、火勢が強くなった場合はその場を離れ隣家への延焼防止に努める。

更に拡大した場合、身の安全を確保するため現場から避難をする。逃げて身を守ることも勇気がある大きな決断だと教えられました。

防災会としても電化製品の使用管理方法、家屋の耐火性向上、電気・ガス・灯油などのエネルギーの管理方法等火災発生に関する日常管理について今後とも広報活動を続けていきたいと思っています。

なお、この学習交流会を受講したのは小金井市内では当自主防災会が最初である。

前原四丁目町会自主防災会 副会長 宮崎克彦

古紙配合再生紙を使用しています。